



小野小だより

「強く 正しく 美しく」

令和3年3月1日

「春の足音とともに、心、元気に。」

小野小学校長 檜本由広

3月1日(月)、全校生に校内放送で話しました。

「皆さん、おはようございます。春らしくなってきましたね。春の足音が近づいてくると、生き物たちも活動を始めます。我慢しきれずに、ムズムズと動き始めるんだね。地面に隠れていた虫たちも動き始めます。植物たちも、芽を伸ばし、つぼみをつけて、自分自身の盛りのために準備を進めていくんだね。盛りとは、物事の一番勢いのある時期や状態のことをいうんだよ。」

「さて、小野小の皆さんは、春の足音を感じながら、どんな成長をしていくのでしょうか。3月だもんね、この1年間のまとめをするんだね。そして、新しい学年に向けて準備を進めるんだね。」

「そんな皆さんに、今日は、心を元気にする方法について、校長先生からメッセージを贈りたいと思います。心を元気にするために、まず大切なことは、……。」

□メッセージその1 「ねらえ！」

「それは、やっぱり、「夢や目標」を持つということなんですよ。これは、いつも言っていることだね。成長するためには、前に進むためには、「ねらい」を定めることが重要です。ここで、校長先生からのメッセージその1、目標を定めて、しっかりと『ねらえ!』だね。」

□メッセージその2 「伸ばせ！」

「つづいて、自分の心は、自分で励ますということが大切なんですよ。ここで、メッセージその2、しっかりと、背筋を『伸ばせ!』です。背筋を伸ばすと、あなたの一番カッコいい姿勢になるでしょ。気持ちも、シャキッとするでしょ。それが、あなたの盛りをさらに立派にするからね。しっかりと、背筋を『伸ばせ!』。うん、よく伸びています。」

□メッセージその3 「感じろ！」

「次で最後にしましょうか。それはね、皆さんが過ごしている中で普段気づかずに、あなたを励ましているものがあるということなんです。」
「それは、耳を澄まさないで聞けないかもしれません……。」

「耳を澄まして聞こえてくる音が、あなたの心を元気にしてくれます。」

それはね、あなたの足音だよ。

ドタドタ、バタバタという足音はだめ。これは、廊下を走っている音だもんね。そうではなくて、タツ、タツ、タツ、タツ。同じリズムで軽やかに。背筋が伸びているいい足音だね。言い換えると、あなたのやる気があふれている『心の足音』でもあるからね。」

(やる気があふれている音と言えよ、まだあるよ。それはね、あなたが集中して、文字を書いていると聞こえてくるよね。鉛筆とノートから聞こえてくる音、あの音を思い出してごらん。全集中のいい音だね。まだありそうだけど、『こんなのもあるよ。』って、見つけた人は、教えてくださいね。)(カッコ内は、予定していましたが、時間の都合によりカット)

「ここで、メッセージその3、やる気にあふれたいい音、あなたらしいいい音をしっかりと『感じろ!』です。『ねらえ!』『伸ばせ!』『感じろ!』、この三つであなたの心は、さらに元気になること間違いなしです。その姿を見ている家族の皆さんやお友達、先生の笑顔もしっかりと感じるんですよ。」

「この3月、春の足音とともに、心、元気にがんばりなさい。」

「応援しています。」

□□ 創立記念日。先輩から後輩へ、繋いで、つないで、149周年。 □□□

2月22日には、引き継ぎ集会がありました。6年生から5年生へと児童会の仕事を引き継ぎました。

先輩から後輩に託したものは、何だったのか。役割、責任、……。その答えは、子どもたち一人一人が、感じることです。

1年間を振り返り、苦労し、考え続けたことを、6年生たちは見事に伝えてくれました。

緊張感のある、そして、やり遂げた感のある、見ごたえのある引き継ぎでした。

6年生、本当にありがとう。5年生、あとは頼みましたよ。そのすべての様子は、各教室で、リモートでしたが、全校生が見守りました。

こうやって繋いできた149年です。2月25日の創立記念日に重ねて、積み上げてきた本校の歴史を実感し、そして、これからの可能性ある未来を楽しみにしたいと強く感じました。

残すところ1か月、3月5日は「6年生を送る会」が控えています。3月23日は卒業式、そして、3月24日は修了式。大きな節目を迎える子どもたちです。

保護者の皆様、これまで同様に、子どもたちを元気に学校へ送り出させていただきますようよろしくお願ひいたします。

